

宮城県高等学校文化連盟規約

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本連盟は、宮城県高等学校文化連盟と称し、事務局を会長の指定する学校に置く。

(目的)

第 2 条 本連盟は、学校教育の本旨に則り、県内高等学校の文化活動の健全な発展を図ることを目的とする。

(事業)

第 3 条 本連盟は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 高等学校文化活動に関する調査・研究
2. 文化に関する研修会・講習会・鑑賞会等
3. 高等学校連合の文化行事
4. 全国高文連行事への参加
5. その他、本連盟の目的達成に必要な事業

(組織)

第 4 条 本連盟は、県内の高等学校・高等部を置く特別支援学校をもって組織する。

(専門部)

第 5 条 本連盟は、次の専門部を置き、その規則を別に定める。

1. 演劇
2. 合唱
3. 吹奏楽
4. 器楽・管弦楽
5. 美術・工芸
6. 書道
7. 放送
8. 囲碁
9. 将棋
10. 自然科学
11. 英語
12. 写真
13. 工業
14. 小倉百人一首かるた
15. 日本音楽
16. ダンス
17. 軽音楽
18. 文芸
19. マーチングバンド・バトントワリング
20. 郷土芸能
21. 弁論
22. 新聞
23. 商業
24. 吟詠剣詩舞

(支部)

第 6 条 本連盟は、次の支部を置き、その規則を別に定める。

1. 仙台北支部
2. 仙台南支部
3. 仙南支部
4. 大崎支部
5. 東部支部
6. 栗原・登米支部
7. 本吉支部

(定通部)

第 7 条 本連盟は、定通部を置き、その規則を別に定める。

第 2 章 機 関

第 8 条 本連盟に次の機関を置く。

1. 評議員会
2. 理事会
3. 常任理事会

(評議員会)

第 9 条 1. 評議員会は、全加盟校の代表各 1 名で構成し、次の事項を審議決定する。

役員 の 推 薦、規 約 の 改 廃、専 門 部 の 設 置 改 廃、事 業 計 画、予 算 ・ 決 算、総 合 事 業 に か か わ る 企 画 ・ 運 営、そ の 他 必 要 な 事 項

2. 評議員会は、会長が招集する。

(理事会)

第 10 条 1. 理事会は、会長、副会長及び理事で構成し、評議員会に提出する事項を審議する。

2. その他必要な事項を審議し、会務を処理する。

3. 理事会は、必要に応じ会長が招集する。

4. 必要に応じて会長が若干名の理事で構成する各種委員会を設置し、理事会への答申を行う。

(常任理事会)

- 第11条 1. 常任理事会は、会長、副会長及び常任理事で構成し、緊急な事項及びその他必要な事項を審議し、会務を処理する。
2. 常任理事会は、必要に応じ会長が招集する。

(会議)

- 第12条 1. 各機関の会議は、構成員の2分の1以上の出席により成立するものとし、委任状はこれを認める。
2. 議決は、出席者の過半数による。

第3章 役員

第13条 本連盟に次の役員を置く。

会長1名、副会長若干名、評議員(加盟校数)、理事長1名、常任理事若干名、理事(専門部各1、支部各1、定通部1、会長指名若干名)、専門部長(専門部数)、支部長7名、定通部長1名、監事2名、参与・顧問若干名

第14条 専門部に次の役員を置く。

専門部長1名、副専門部長若干名、幹事若干名

第15条 支部に次の役員を置く。

支部長1名、副支部長若干名、幹事若干名

第16条 定通部に次の役員を置く。

定通部長1名、副定通部長若干名、幹事若干名

(事務局)

第17条 連盟事務局に次の事務局員を置く。

事務局長1名、庶務担当若干名、会計担当若干名、書記若干名

(役員職務)

第18条 連盟役員職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、会務を統轄し、本連盟を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時は、その職務を代行する。
- (3) 評議員は、本連盟の事業の審議にあたる。
- (4) 理事長は、理事会を統轄し、会務を処理する。
- (5) 理事は、理事会を組織し、会務を処理する。
- (6) 常任理事は、理事長を補佐し、会務を処理する。
- (7) 専門部長は、各専門部を統轄し、代表する。
- (8) 支部長は、各支部を統轄し、代表する。
- (9) 定通部長は、定通部を統轄し、代表する。
- (10) 事務局は、連盟の事務を処理する。
- (11) 監事は、会計を監査する。
- (12) 参与は参与会を組織し、会務の運営について指導助言する。
- (13) 顧問は、会長の諮問に応ずる。

(役員選出)

第19条 1. 役員選出は次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、参与会の推薦を受け、評議員会で推戴する。
 - (2) 専門部長及び副専門部長は、各専門部で選出し、評議員会の承認を経て、会長が委嘱する。
 - (3) 支部長及び副支部長は、各支部で選出し、評議員会の承認を経て、会長が委嘱する。
 - (4) 定通部長及び副定通部長は、定通部で選出し、評議員会の承認を経て、会長が委嘱する。
 - (5) 理事長は、理事会の互選により選出する。
 - (6) 理事は、各専門部長及び各支部長並びに定通部長の推薦に基づき、会長が委嘱する。又、会長は必要に応じて若干名の理事を置くことができる。
 - (7) 常任理事は、理事会の互選に基づき、会長が委嘱する。
 - (8) 監事は、評議員会の推薦により2名選出する。
 - (9) 参与は、各加盟学校長をもってあてる。
 - (10) 顧問は、評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。
2. 役員の間は兼任は妨げない。

(役員の間)

- 第20条 1. 役員の間は2年とする。ただし再任を妨げない。
2. 役員に欠員の生じたときは、必要により補充することがある。ただし任期は前任者の残任期間とする。

第4章 会 計

(経費)

- 第21条 本連盟の経費は、会費・補助金・寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(会計年度)

- 第22条 本連盟の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

- 第23条 本連盟の会計は、別に定める宮城県高等学校文化連盟会計規程による。

附 則

1. この規約は、評議員会の議決によらなければ変更することができない。
2. この規約は、平成元年1月29日から施行する。
3. 平成2年6月8日 第5条 改定
4. 平成4年6月17日 第5条 改定(12、13を追加)
5. 平成5年5月21日 第5条 改定(14～16を追加)
6. 平成7年5月19日 改定(定通部、会長指名理事)
7. 平成11年5月20日 第5条 改定(17を追加)
8. 平成15年5月13日 第5条 改定(18を追加)
9. 平成16年5月13日 第5条 改定(19を追加)
10. 平成17年5月12日 第5条 改定(5を改定)
11. 平成22年5月6日 第4条 改定
12. 平成23年6月8日 第10条 改定(4を追加)
13. 平成26年5月16日 第5条 改定(10、14を改定 20～22を追加)
14. 平成27年5月15日 第5条 改定(23～26を追加)
15. 平成30年5月18日 第5条(25、26を削除)、第6条、第13条 改定

宮城県高等学校文化連盟会計規程

宮城県高等学校文化連盟規約第23条により会計規程を次のとおり定める。

第1条 会費は下記のとおりとする。

一校あたり、生徒数×400円とする。定時制・通信制ならびに特別支援学校高等部については、生徒数×200円とする。納期は毎年5月末日までとする。ただし、新規加盟の場合加盟時を納期とする。

第2条 上部団体への負担金は、当該団体の規程による金額を加盟金として納入する。

第3条 全国高等学校総合文化祭等に県代表として参加する場合は、旅費を補助することができる。

第4条 専門部・支部・定通部の事業費及び運営費は、予算の範囲内で補助することができる。

第5条 繰越金の一部は特別会計に繰り入れることができる。

第6条 専門部・支部・定通部の繰越金の金額は配当事業費金額の50%（1/2）以下とする。繰越金が50%（1/2）を上回った場合は、その上回った金額を県高文連会計に返納する。

第7条 専門部・支部・定通部の次年度配当事業費について金額の変更を希望する場合は、各部長名で10月末日までに申請し、理事会で審議することとする。

附 則

1. この規程は、評議員会の議決によらなければ変更することができない。
2. この規程は、平成元年11月29日から施行する。
3. 平成4年6月17日 第1条 改定（会費）
4. 平成5年10月26日 第1条 改定（会費）
5. 平成9年5月16日 第5条 追加
6. 平成13年11月22日 第1条 改定（会費）
7. 平成22年5月6日 第1条 改定
8. 平成24年5月10日 第6条 追加
9. 平成24年5月10日 第7条 追加
10. 平成28年5月20日 第1条 改定（会費）

.....

宮城県高等学校文化連盟専門部設置規程

第1条 専門部新設の申請条件は次のとおりとする。

1. 専門部は、全県を対象とした1分野1組織であること。
2. 専門部は、流派等にかかわらない組織であること。
3. 専門部は、複数の加盟校があること。
4. ただし、全国高等学校総合文化祭宮城大会開催にあたり、必要があると認められる文化活動である場合はこの限りではない。

第2条 専門部は、専門部長（高等学校長）を責任者とする。

第3条 専門部は、原則として規約第4条に定める学校の教諭をもって組織する。

第4条 専門部の設置及び廃止は、評議員会で決定する。

1. 会長は、設置及び廃止について審議の必要があると認めるときは、当該専門部について調査しその結果を理事会、評議員会に提示し、設置及び廃止の審議を求めるものとする。

附 則

1. この規程は、評議員会の議決によらなければ変更することができない。
2. この規程は、平成元年11月29日から施行する。
3. 平成26年5月16日 第4条 改定（1を追加）
4. 平成27年5月15日 第1条 改定（4を追加）

.....

宮城県高等学校文化連盟表彰規程

1. 本連盟は連盟の発展に寄与し、その功績の顕著な者を表彰する。
2. 表彰は感謝状、功労賞および宮城県高等学校文化連盟賞とする。
 - (A) 感謝状
次に該当する者を表彰する。
 - ① 会長
 - ② 副会長・支部長・専門部長・定通部長
 - ①については、在任期間1年以上とし、退任時に表彰する。
 - ②については、通算在任期間3年以上とし、退任時に表彰する。
 - (B) 功労賞
次に該当する者を表彰する。ただし、再表彰はしない。
 - ① 支部理事・専門部理事・定通部理事・会長指名理事
 - ② その他、県高文連会長が推薦した者
 - ①については、通算在任期間5年とし、在任期間が経過した翌年に表彰する。
 - (C) 宮城県高等学校文化連盟賞
品位、学業を考慮し、次に該当する者を表彰する。
 - ① 高文連が主催する全国大会・東北大会で、優れた成績を修めた団体および個人。
 - ② 前項①に準ずる大会で、優れた成績を修めた団体および個人。
3. (A)および(B)の表彰は次年度の評議員会の席上で行う。
(C)の表彰は年度末に行う。
4. 推薦は事務局・支部・専門部・定通部が行い、常任理事会で決定する。
5. 提出書類は所定の様式による。

附則

1. この規程は平成9年5月16日より施行する。
2. 平成16年5月13日 2 改定（感謝状・功労賞・宮城県高等学校文化連盟賞）
3. 平成16年5月13日 3 改定（2の改定に基づく）
4. 平成17年5月12日 2(C) 改定